



子ども達の話に寄り添って

ようやく爽やかな天候が続くころとなりました。9月は参観日にマラソン大会、収穫祭と子ども達にとってもちょっと忙しく、そして楽しみな行事が続きました。保護者の皆様には何度も学校に足を運んでいただきありがとうございました。今は、10月16日の学芸会に向け、子ども達も先生方も一生懸命取り組んでいます。練習が続くと疲れがたまって体調を崩すこともあります。どうぞ、「早寝早起き・朝ごはん」生活リズムを整え、子ども達が存分に力を出せるよう、ご協力をお願いします。

さて、毎朝教室をめぐり、子ども達と一緒に、言葉を交わすことを日課としています。昨日遊んだこと、友達との会話、お兄ちゃんやお姉ちゃんのことなど様々なことを話してくれます。（どちらかというと低学年が多いですね。）時々、オッ！と驚くような話も出てきます。エッ？とよくよく聞くと、その子にとってとても印象的だったり、強く心に残っていたり、悲しかったりと、その子が強く感じたことを切り取って話してくれていることがわかります。そんな時は、できるだけ最後まで子ども達の話に耳を傾けるようにしています。この子はどんなことをどんなふうに感じたのか、共感しながら聞くことで、その子を理解する一つの手立てとなるからです。時には話の中身が、事実より大きくなったり、一部だけだったりしますが、その子が強く感じたことで、訴えたいことだと受け止めます。例えば、子ども達に今日あったある事を聞くと、一人ひとり少しづつ違う話をしてくれます。あった事は同じでも、その子が見て印象に残った事とその子の感じた事が付け加わっていくからです。また、子ども達の話の後ろには、本当に言いたいことや伝えたいことが隠れていることがあります。そういう時に、どのようにしたら子どもたちの思いを引き出してあげられるのでしょうか？やはり、普段から子ども達の話に耳を傾けることで、子ども達との間に安心感を持って話せるという信頼関係を作っていくことが大切なことだと思います。

これからも、子ども達とわずかですが言葉を交わす時間を大切にしていきたいと思います。

校長 山本尋子

今田様からの寄附で購入いたしました

〔スピーカー、
ワイヤレスマイクセット〕



学校だよりNo.7でお知らせいたしました、昭和22年3月に本校をご卒業されました今田様よりの寄附ですが、今回、学校に必要なもの、子ども達に役立てるものについて購入させていただきました。購入しましたものは、今後大切に使わせていただきます。児童図書につきましては、今田文庫として開設し、子ども達がいつでも読めるようにしていきます。